

日本緩和医療学会 COVID-19 患者の呼吸困難への対応に関する手引き（在宅版）

1. 作成者

2. 査読者

日本緩和医療学会 COVID-19 関連特別ワーキンググループ

3. 作成意図

COVID-19 の世界的な流行に伴い、海外から COVID-19 患者の呼吸困難への対応に関する手引きが複数公開されている。しかし、医療事情の異なる海外の状況をふまえた内容を本邦の診療にそのまま当てはめることは難しい。そこで、本邦の医療事情を踏まえた COVID-19 患者の呼吸困難への対応に関する手引きを作成した。

4. 本手引きの対象患者

呼吸困難を有する COVID-19 在宅患者

5. 使用上の注意点

本手引きを参考にする際には以下の点に留意しておく。

- ・ COVID-19 患者の呼吸困難への対応に関するエビデンスはもちろん確立されていないため、本手引きはその他の疾患領域での対応を踏まえたエキスパートオピニオンに基づいている。
- ・ 各施設によって利用可能なリソースが異なるため、利用可能な機器や体制に合わせて各施設に合った内容に修正することが望ましい。
- ・ 保険適用外の薬剤・投与法も記載されている。
- ・ COVID-19 の流行状況に伴って医療環境も変化してくことが予想されるため、今後改訂もあり得る。
- ・ 在宅診療においては病院診療と異なり、薬剤、酸素機器、薬剤投与機器がすぐに使用できない場合があるため、病院版の手引きに記載したアルゴリズムは省略した。
- ・ また、在宅診療においては、家族が介護の主体を担う場合が多く、症状の観察や投薬面での役割を担う場合がある。特に、COVID-19 の場合は、感染リスクも抱えての対応を迫られることで家族の心理的な負担も大きくなるため、家族に対しても十分な配慮をはかり、家族ケアも行うことを注意として記載しておく。